



功労賞

公共の福祉増進に功労のあった人または市勢の進展について功績が顕著であって、広く市民の模範となるべき人に贈られます。



長内 民義さん

(81歳・木造鶴泊)

昭和59年4月から平成22年3月まで行政連絡員として26年にわたって行政連絡業務に精励し、行政運営に貢献



相馬 國夫さん

(80歳・木造曙)

昭和58年6月から平成21年4月まで行政連絡員として25年にわたって行政連絡業務に精励し、行政運営に貢献



杉森鐵太郎さん

(70歳・木造柴田)

平成2年5月から平成21年12月まで保護司として19年にわたり罪を犯した人の改善更生に尽くし、地域社会の浄化に貢献



長谷川 盛さん

(77歳・豊富町)

平成2年5月から平成22年2月まで保護司として19年にわたり罪を犯した人の改善更生に尽くし、地域社会の浄化に貢献



北澤 一郎さん

(77歳・車力町)

平成3年9月から平成21年12月まで人権擁護委員として18年にわたり人権相談を行うとともに、人権擁護と人権思想の普及に貢献

地方自治の発展や社会福祉の向上に貢献した方の功績をたたえる「平成22年度つがる市表彰式」が11月2日、生涯学習交流センター「松の館」で行われました。

今年度の受賞者は功労賞5人。式では福島市長が受賞者一人一人に表彰状と記念品を手渡し、「皆様の長きにわたるご尽力に敬意を表します。これからも豊富な知識と経験を生かして、市発展のためにご支援くださるようお願いいたします」と式辞。受賞者を代表して長谷川盛さんが「活動が認められ、身に余る光栄。これからもつがる市の発展のため、微力を尽くしたい」と謝辞を述べました。

長年の貢献に感謝をこめて 平成22年度つがる市表彰式

「あなたらしさ」を大切に

青森県男女共同参画オープンカレッジinつがる市  つがる市笑顔まつり2010



- ・内弟子になった日に師匠から受け取るもの…それは「師匠の家の鍵」。その日から炊事、掃除などが始まります。家事を通して本物の演技を身に付けるとともに、何十年も家事に携わる女性への理解が深まりました。
- ・多くの人が「古風な」イメージを抱く落語の世界。しかし、そこは男女の区別に関係なく経験を尊重し、個性や能力を認め合う世界で、男女共同参画の観点からは「新しい」世界であるとも言えます。
- ・男女共同参画って結局「思いやり」の文化。男らしさ、女らしさにこだわらず「あなたらしさ」を大切に。



三橋真奈美さんのピアノ演奏



ベビーマッサージで親子のコミュニケーション



木造高校生による「木高ロール」の販売



夫婦で力を合わせてハンバーグ作り



アロマジェルクリームで癒しのひとときを



高校生らによる絵本の読み聞かせ

11月3日、青森県男女共同参画センター主催による男女共同参画オープンカレッジinつがる市「つがる市笑顔まつり2010」が行われ、市民ら約2000人が参加し、男女共同参画について理解を深めました。

この日は、落語家・林家花丸師匠が「人生をシェアせに生きるコツ」笑うイエには福来たる」と題して男女共同参画について落語を交じえて講演。花丸さんのユーモアあふれる楽しい講話に会場は大きな笑いに包まれていました。

また、野菜ソムリエ料理教室、ベビーマッサージ講習会、癒しのアロマセラピーなどさまざまなイベントが行われ、参加者は心豊かな一日を過ごしました。

相手に任せきりでなく自立を

●男女共同参画って何をすればいいのでしょうか？

社会や家庭の一員として、日頃から相手に頼りきりにせず、自分も精神的に自立していくことが大切です。そうすることで、女性男性の役割と決め付けることなく、できることはお互いに助け合い、認め合う生活につながると思います。

●「男らしさ」「女らしさ」ってダメ？

男らしさ、女らしさは無理に無くす必要はないと思いますが、自分の中に「これをやりたい」という秘めたものがあるなら、年齢性別にこだわらず、その可能性を伸ばせる環境を作っていけたらいいと思います。

●今後のつがる市の男女共同参画社会に向けて抱負をお願いします。

「参画」という言葉にしばられないで、女性、男性という枠組みではなく、生活者の視点から問題解決に向け地域社会全体が助け合って住みよい暮らしができるよう、皆で話し合い協力し合って進めていきたいと思います。



工藤 早苗さん
(つがる市男女共同参画推進委員会・委員長)